

特産物の 商品化をめざして…!

2月17日(木)下野市市民農園クラブハウスにおいて下野市地域特産物商品化開発研究会による「開発商品発表会・試食会」が行われました。

これは、下野市の農業の振興と活性化を図るとともに地産地消の拡大を目的としたもので、市内で生産された農産物特産品の、いちご、干瓢、ごぼう、ほうれん草等を使ったロールケーキ、まんじゅう、クッキー、餃子、漬け物などが開発商品として出品されました。



試食会では、広瀬市長をはじめ、農業公社理事、評議員、道の駅支配人などが審査員となり、商品化に向けて真剣な面持ちで試食していました。

今後は、試食会におけるアンケート調査を基に工夫を重ね、3月26日にオープンする道の駅「しもつけ」で下野市のPR商品として販売する予定です。

平成22年度

女性農業委員活動推進シンポジウム・家族経営協定推進シンポジウム開催される

—女性農業委員の活動で農業・農村を元気にしよう—

3月9日(水)東京の都市センターホテルにおいて開催された家族経営協定推進シンポジウムに、下野市家族経営協定締結者の会「ゆとりの会」代表の毛塚文江様と事務局がパネリストとして参加しました。

現在下野市では農業委員を中心に家族経営協定の推進をしており、今回のシンポジウムでは、その協定推進経過や締結後のフォローアップとして発足した「ゆとりの会」の活動内容についての発表をしました。

また当日は、女性の視点と感性を活かした農業行政の適正な執行、地域農業の振興・活性化に向けた農業委員会活動に取り組む全国的な組織「全国女性農業委員ネットワーク」が設立されました。

これを期に、今後益々の女性農業委員の活躍をご期待致します。



農業青色申告会の指導会が開催されました

平成22年12月7日(火)下野市農業青色申告会では、正確な簿記記帳と適正な申告を行うため講師に関東信越税理士会栃木支部の谷貝税理士を迎え指導会を開催しました。

参加した会員は、年末調整等について丁寧な説明を受けていました。

また、2月1日(火)には栃木県農業会議の高田業務部長による平成23年確定申告・消費税申告に向けた指導会が開催されました。

確定申告を間近に控え、出席した多くの会員が熱心に講師の話に耳を傾けていました。

さらに、2月24日(木)にはパソコンによる決算書の作成、3月2日(水)から4日(金)にかけては、税理士による個別の決算書・確定申告書の作成指導が行われました。

会では、今後も税務知識の取得と簿記記帳技術の向上を図るため指導会・研修会を開催しますので皆様の参加をお待ちしております。

